

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスにじいろ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月5日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容や自立課題を充実させ、楽しみをもって通所できるように支援しています。	支援プログラムに基づき、成長過程に即した活動の提供を行っています。運動、レクリエーション、音楽活動や調理実習等、一人でやる活動だけでなく集団で行うことで社会的なルールも学べるように努めています。ご本人はもちろん保護者の要望も反映できるような課題の提供を行い個々の強みはさらに伸ばし、弱みは補えるように工夫し生活スキルの向上を目指しています。	令和8年度は高等部を卒業し、新たな場所へ移行する予定の方々が多くいらっしゃいます。次の場所に安心して移行できるようにSSTや社会科見学等、社会性を身に付ける機会を作ります。また、活動が固定化しないように新しい活動の提供を継続していきます。
2	利用者の障害特性について理解を深め、個々の特性に配慮し構造化した環境を整えています。	支援員が積極的に研修に参加し専門性の向上に努めています。研修後は毎月の会議において支援員間で情報共有を図り意識を高めています。安心感のある環境設定や視覚的な構造化を行うことで、自分らしく落ち着いた生活を送ることができる利用者が増えています。	今後も研修へは積極的に参加し意識を高めていきます。また、5S活動を取り入れ活動スペースの整理整頓を行い清潔で心地よい空間の設定を行います。
3	利用者ご本人、保護者のニーズが反映された個別支援計画の作成が行われ、計画に沿った適切な支援の提供が行われています。	児童発達支援管理責任者を中心に、日々丁寧なアセスメントを行っています。また、計画作成前に保護者の要望をお聞きし、計画に反映しています。計画については全支援員が常に意識できるように提示し計画に沿った支援を行っています。	今後も細やかなアセスメントを継続し、意思表出の難しい利用者の方々のニーズも取りこぼすことのないよう努めていきます。保護者との情報共有もこまめに行い利用者の方々のニーズに応えられるような支援の提供を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や兄弟向けのイベントの開催を行えていない状況です。	以前は保護者のお話し会を開催していましたが、コロナ禍より中止し再開に至っておりません。今年度はにじいろを含む多機能センターにて地域の方々の集まるイベントを開催し数名の利用者の方々は家族と一緒に参加してくださいました。	保護者の方々からのご要望を確認し、保護者同士が交流できる機会を設けられるように努めてまいります。今年度も地域の方々との交流するイベントの開催を予定しているため、利用者の方々が家族と一緒に参加できるように働きかけます。
2	利用者の方々と地域の方との交流ができていない状況です。	近隣の公園や地域の交流館を利用し地域の方々と交流できる機会を作りました。また、事業所の近くで開催された「子ども食堂」へ参加することもできましたが、曜日により利用する利用者が異なるため、全員が参加するまでには至っていない状況です。	長期休暇を利用し、地域の図書館や交流館等に出かけ地域の方々と交流できる機会を設けます。併設している生活介護事業所と合同のイベントを開催しているため継続していきます。
3	家族が参加できる研修会や情報提供の機会を設けることができませんでした。	法人内で行われる研修の案内は行いましたが、テーマが児童向けでなかったためか、参加者がいませんでした。	今後も研修がある際は案内をいたします。研修会を通して保護者同士が交流できるように努めてまいります。